

シンポジウム

「グリーン×デジタルが先導する豊かな地域循環共生圏づくり」

日時：令和3年12月6日（月）14:00～16:30 オンライン開催

主催：環境省

共催：国連大学サステナビリティ高等研究所(UNU-IAS)
地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)

地域の魅力を活かしながら資源循環や自然共生に取り組むことで脱炭素も実現し、それぞれに相乗効果が得られる、つまり地域においてSDGsを達成する社会、地域循環共生圏の創造を目指すにはどうしたらよいか。

本シンポジウムでは、グリーンとデジタルをキーワードに、今、地域が抱える課題に対し、どのような工夫で地域づくりを進めているのかを共有します。さらに、ICT等の科学技術を活用したコミュニケーションや行動変容にも着目しながら、これからの地域づくりにおけるパートナーシップのあり方について考えてまいります。

登壇者プロフィール

○開会挨拶



中井 徳太郎 環境省環境事務次官

1985年東京大学法学部を卒業し、同年旧大蔵省へ入省。主計局主査(農林水産係)などを経験。1999年から2002年まで富山県に出向。生活環境部長などを勤め日本海学の確立、普及に携わる。2002年 財務省広報室長、2004年 東京大学医科学研究所教授、2006年 金融庁監督局協同組織金融室長、2010年より財務省主計局主計官(農林水産担当)、2011年 環境省総合環境政策局総務課長、2012年 環境省大臣官房会計課長、2014年 環境省大臣官房審議官・内閣官房内閣審議官、2016年 環境省廃棄物・リサイクル対策部長。2017年 総合環境政策統括官。2020年7月より現職。

○基調講演



仁坂 吉伸 和歌山県知事

昭和49年4月 通商産業省に入省
平成10年6月 通商産業省生活産業局総務課長
平成11年7月 経済企画庁長官官房企画課長
平成13年1月 経済産業省大臣官房審議官(通商政策局担当)
平成14年7月 経済産業省製造産業局次長
平成15年7月 ブルネイ国大使
平成18年10月 社団法人日本貿易会専務理事
平成18年12月 和歌山県知事
平成22年12月 和歌山県知事(2期目)
平成26年12月 和歌山県知事(3期目)
平成30年12月 和歌山県知事(4期目)

○事例発表 I (地域・企業)



正田 英樹 株式会社chaintope 代表取締役 CEO

1972年山口県光市生まれ。九州工業大学情報工学部卒。同学卒業直後、1999年7月、ハウインターナショナル創業。ソフトウェア開発に従事する傍ら、「アジアのシリコンバレーe-ZUKA(飯塚)」をスローガンに、地方創生事業に取り組む。2015年頃よりブロックチェーンの研究開発を開始し早期から社会実装に向けた取り組みに注力。2016年12月、ブロックチェーンに特化して事業を進めるべくChaintopeを設立。九州工業大学 客員教授、熊本大学 客員教授



秋吉 浩気 VUILD株式会社 代表取締役CEO/アーキテクト/メタアーキテクト

1988年大阪府生まれ。芝浦工業大学工学部建築学科を卒業し、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科X-DESIGN領域にてデジタルファブリケーションを専攻。2017年にVUILD株式会社を創業。主な受賞歴にSDレビュー入選(2018)、SDレビュー入選(2019)、Under 35 Architects exhibition Gold Medal賞(2019)、グッドデザイン金賞(2020)。

○事例発表Ⅱ（研究機関）



**竹本 明生 国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）
プログラムヘッド**

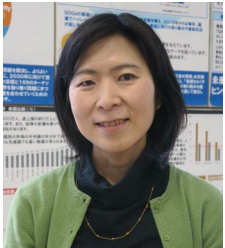
環境省において気候変動対策や環境アセスメント等に関する法案作成、気候変動適応計画の策定、家電エコポイント制度など時代に即した政策の企画立案を担当。2018年から地球環境ファシリティ（在ワシントンDC）において途上国における環境保全プロジェクトのファイナンスを担当。2020年6月から国連大学において気候変動対策とSDGsのシナジー、SDGsに関するガバナンス、持続可能な開発のための教育（ESD）等の研究、教育、アウトリーチ活動を実施。



**今井 弘二 国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
ソーシャルイノベーションユニット 戦略的プログラムオフィス
イノベーションプロデューサー**

2020年から枚方市 スマートシティ推進アドバイザー、大阪工業大学 情報科学部 客員准教授。情報通信技術（ICT）を専門とし、近年は観光や教育の分野などを中心として地域課題を解決するための活動を精力的に進めている。

○質疑応答 モデレーター



星野 智子 一般社団法人環境パートナーシップ会議（EPC）副代表理事
環境、パートナーシップ、SDGsをテーマに、対話の場づくりなど協働推進、市民活動・CSR活動の促進に携わる。「国連持続可能な開発のための教育(ESD)」や生物多様性保全の推進、SDGsに関する講演、ワークショップなどを多数行っている。現在、一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク、一般社団法人海外環境協力センター、NPO法人日本NPOセンターの理事などを務める。

○総括



**武内 和彦 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）理事長
東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授
国連大学サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）客員教授**

1951年和歌山県生まれ。74年東大理卒、76年同農院修士修了、農学博士。東大アジア生物資源環境研究センター教授等を経て、97～2012年東大院農学生命科学研究科教授。08～16年国連大副学長／上級副学長。12～19年東大サステナビリティ学連携研究機構長・教授／特任教授。16年～国連大サステナビリティ高等研究所（UNU-IAS）客員教授。17年～地球環境戦略研究機関（IGES）理事長。19年～東大未来ビジョン研究センター特任教授。